

2024 年 4 月 5 日作成 Ver.2

《情報公開文書》

慢性硬膜下血腫再発例における中硬膜動脈塞栓術の有用性の検討

研究の概要

【背景】

慢性硬膜下血腫は頭を打った後に 1~2 ヶ月かけてゆっくりと頭の中に血が溜まる病気で、70~80 歳代に起こりやすいとされます。溜まった血が脳を圧迫することで頭痛や意識の障害、手足の麻痺などの神経症状を起こします。標準的な治療として頭蓋骨に 10 円玉ほどの穴を開けて血を抜く手術が行われますが、10~15%は再発することがあります。再発を繰り返す場合にカテーテル治療で栄養する血管を詰める治療（中硬膜動脈塞栓術）を行うことがあります。また、統一された治療方法ではありません。

【目的】

本研究では、当院で中硬膜動脈塞栓術を行った慢性硬膜下血腫の患者さんを対象とし、治療適応、治療方法、治療成績などを調査することで、中硬膜動脈塞栓術の実態を把握し、再発抑制効果、治療の効果がやすい患者さんや治療の安全性を明らかにすることを目的とします。

【意義】

患者さんごとに適した再発・難治性慢性硬膜下血腫に対するより有効性の高い治療法を提案できるよう治療方針を確立できることを期待しています。

【方法】

当院において慢性硬膜下血腫に対する血管内治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに患者背景、診察・検査所見、治療情報、治療結果のデータを選び、治療効果や有効性に関する因子、安全性に関して分析を行います。

対象となる患者さん

2018/1/1~2028/1/1 の間に長崎大学脳神経外科で慢性硬膜下血腫に対してカテーテル治療（中硬膜動脈塞栓術）を受けた患者さんで血管内手術時の年齢が 18 歳以上の方を対象とします。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者背景（年齢、性別、利き手、既往歴、内服薬など）
- 診察所見、CT 所見、血管撮影所見
- 治療内容（使用した塞栓物質やカテーテルの種類など）

- ・治療経過、術後経過（再発があったか、合併症があったかなど）

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は2024年5月2日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2030年3月31日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 脳神経外科 氏名：松尾 孝之 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7375
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 脳神経外科 塩崎 絵理

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095 (819) 7375 FAX 095 (819) 7378

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200

受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）